



シバセ工業 株式会社

URL / <http://www.shibase.co.jp>

“ものづくり”のこだわり

本社地の岡山県南西部に位置する寄島町は明治時代に麦稈真田（麦わらを真田紐のように編んだもの）で麦わら帽子の生産が始まり、同時期に麦稈を原材料にストロー生産も開始した近代ストロー発祥の地である。

大正15年に精米、精麦、素麺の製造販売を行っていた同社もストロー製造に進出。昭和50年代には、大手飲料メーカーとの取引を開始して岡山県下トップクラスの生産量を誇るまでに業容を拡大。しかし、海外製品の台頭で国産製品の市場が縮小、新たな事業展開を迫られた平成17年に磯田拓也氏が代表者に就任した。



伝統と挑戦

未来に貢献する製品創り

ストロー製造の技術を生かした新規事業への参入を模索、ストローの薄肉パイプという形状に着目し、携帯電話や医療機器、家電製品に使用されるパイプやノズルなどへの転用を目的に工業用ストローの分野に進出。現在では樹脂用熱交換器、シャフト保護カバー、医療用使い捨てスポットなど幅広い分野で同社の製品が利用されている。

工業用ストローに続き、磯田社長の大手精密機器メーカーに在籍した経験を生かし、電子事業部を新設してモーター自動検査装置の開発にも着手。製造ラインで使用される検査装置は、工業用ストローで開拓した取引先からの引き合いも多く、電子回路設計、配線設計も行う。

伝統の事業を生かして新たな市場に挑戦する同社はITを活用して社内体制の合理化にも積極的に取り組む。優れたIT経営を実現する企業を表彰する目的で、「おかやまIT経営力大賞」実行委員会が主催する「平成23年度おかやまIT経営力大賞」の優秀賞を受賞。

地域特産のストロー製造を地盤に工業用ストロー、電子関連事業と活躍の場を広げる同社は、“伝統と挑戦”をスローガンに未来に貢献する製品創りに取り組んでいる。

ストロー製造に使う電力の15%を太陽光発電によるグリーンエネルギーでまかっています。



独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の「平成20年度太陽光発電新技術等フィールドテスト事業」に採択されて、NEDOとの共同研究事業を行っています。

企業プロフィール

- 社名 / シバセ工業株式会社
- 住所 / 岡山県浅口市鴨方町六条院中3037
- TEL / 0865-44-2215 FAX / 0865-44-2640
- 代表者名 / 磯田 拓也
- 事業内容 / 飲料用ストロー・工業用ストロー・電子事業

- 創業 / 大正15年
- 設立 / 昭和24年
- 資本金 / 1,000万円